

## 授業が変わる！評価が変わる！

# これからの中学校英語科における授業づくり

## コンテンツの趣旨

今年度から学習指導要領が全面実施され、授業づくりの在り方が変わります。これに伴い、従来行ってきた学習指導や学習評価を見直し、改善・充実を図っていく必要があります。本コンテンツでは、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査（以下、学習状況調査）の分析結果から、課題の見られる資質・能力を明確にし、その資質・能力を育成するための授業づくりについて示します。

具体的には、「これからの中学校英語科における授業づくり～指導と評価編～」と題し、課題の見られる資質・能力を育成するための単元パッケージ（単元の指導と評価の計画や本時の展開、評価問題等）をWebアップしています。

<b>単元</b> 日本文化を紹介する（第3学年 全4時間）	<b>英語の目標</b> 「書くこと」イ
<b>単元を通して育成を目指す資質・能力</b> テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力	<b>学習評価のキーワード</b> 「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

### 1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準（「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身を用いた文の構造を理解している。</li> <li>日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。</li> </ul>	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くようとしている。

※ここでは、「書くこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「話すこと〔発表〕」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

### 2 指導と評価の計画（全4時間）

※「書くこと」のパフォーマンス活動を行う単元を題材として取り扱っています。

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■単元の目標を理解する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①自己目標を設定する。</li> <li>②「外国から見た日本」の映像を見る。</li> </ul> </li> <li>■教科書本文の内容を捉え、伝え合ったことを書く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>③教科書本文を読み、読み取れた内容についてペアで伝え合う。</li> <li>④教科書本文に使われている未習の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。</li> </ul> </li> </ul>				本時では、 <b>〔指導に生かす評価〕</b> を行います。

「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)  
 ・教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、読み取りのポイントを示す(言語活動等③)。

本コンテンツで取り上げる，学習状況調査結果より課題の見られる資質・能力は6つです。取り扱う事例と併せて以下に示します（資料1）。なお，平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果より，「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」にも課題が見られたことを踏まえて，それに係るコンテンツも提示しています。



学習状況調査結果より課題の見られる資質・能力	事例
○テーマについて事実や自分の考えを整理し，まとまりのある文章を書く力	事例1
○語や文法事項等を理解して正しく書く力	事例2 事例3
○聞いて把握した内容について適切に応じる力	事例4 事例5
○まとまりのある文章を読んで，その要点を捉える力	事例6
○書かれた内容に対して，自分の考えを示すことができるように，話の内容や書き手の意見などを捉える力	事例7
○質問をしたり答えたりしながらやり取りする力	事例8

【資料1 学習状況調査結果より課題の見られる資質・能力と取り扱っている事例】

また，「これからの中学校英語科における授業づくり～評価問題編～」と題し，評価問題の改善ポイントについても具体例を示しながら説明しています。

**授業が変わる！評価が変わる！**  
**これからの中学校英語科における授業づくり ～評価問題編～**

今年度から学習指導要領が全面実施され，学習評価の在り方が変わります。それに伴い，評価問題も変わります。そこで，本コンテンツでは，**評価問題の改善ポイントについて，具体例を示しながら説明します。**ここでは，**理解の領域（「聞くこと」及び「読むこと」）**について示します。

**1 英語の目標**  
 評価問題作成の際には，まずは英語の目標を確認することが大切です。「聞くこと」及び「読むこと」の目標を以下に示します。

聞くこと	ア はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば，社会的な話題について，短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説【外国語編】 pp.18-26を基に作成

「これからの中学校英語科における授業づくり～評価問題編～」より一部抜粋



明日からの授業づくりにすぐに役立つコンテンツとなっています。どうぞ，御活用ください。